

ハーモニカ

HARMONICA

(イスラエル)

ユダヤの音楽家には、メンデルスゾーン、オッフエンバック、マーラー、シェーンベルク、ガーシュイン、コープランドその他多くの大家が出ており、我が国の洋学の発達に尽した外国人教師にも多数のユダヤ人がいるが、1948年イスラエル共和国独立後のユダヤ音楽は、むしろそのロマン的性格にもとづく新しい民衆音楽に新鮮な作品が多い。

我々は、ハーモニカといえばあの小さなリード楽器を思い浮かべるが、この踊り名の「ハーモニカ」は、イスラエルではガラス片か金属板を槌でたたいて鳴らす原始楽器の名であり、タイのガラス琴(ラナート・ケオ)、茶碗を用いる中国の碗琴やインドのジャラタランガなどと同様の楽器である。

- ◆音 楽 2/4 拍子。前奏 16 呼間。1 回の踊り 96 呼間。全曲で 4 回と 1/6 回踊れる。
- ◆隊 形 シングル・サークル。パートナー不要。全員円内を向いて低く連手する。
- ◆ステップ グレープバイン・ステップ、ステップ・ホップ、ハーモニカ・ステップ、ランニング・ステップ。

◆踊り方

I. グレープバイン・ステップとステップ・ホップ

1. LOD へグレープバイン・ステップを 1 回行う。すなわち左足を右足の前に交差してステップ [1]、右足を右横にステップ [2]、左足を右足の後ろに交差してステップ [3]、右足を右横にステップ [4] 4 呼間
2. LOD を向きステップ・ホップ 2 回で前進する。先ず左足をステップ [1]、その左足でホップ [2]、右足をステップ [3]、その右足でホップ [4]。 4 呼間
3. 1 と 2 をあと 3 回 (計 4 回) くりかえす [1~24]。 24 呼間

II. ハーモニカ・ステップ

1. 右斜め前を向き、左足を右足の前に交差してステップ (腰を前へ押し出すようにしてわずかに身体を後ろに反り) し、連手を肘から曲げて上げる [1]、右足を後ろにステップして連手を下げ [2]、円内を向き左足を元に戻してステップ [3]、左足でホップ [4]。 4 呼間
2. 左斜め前を向き、右足を左足の前に交差してステップし、連手を肘から曲げて上げ [1]、左足を後ろにステップして連手を下げ [2]、円内を向き右足を元に戻してステップ [3]、右足でホップ [4]。 4 呼間
3. 1 を行う [1~4]。 4 呼間
4. 円内向きのまま、その場で右足をステップ [1]、ホップ [2]、左足をステップ [3]、ホップ [4]。 4 呼間
5. 1~4 を反対の足からはじめ、反対方向から行う。すなわち 2→1→2 の順に行い左足のステップ・ホップ、右足のステップ・ホップ (左足スイング) [1~16]。 16 呼間

Ⅲ. 肩を組んでバランスとランニング・ステップ

1. 全員両手を肩の高さに上げて肩を組み、左足を左横へステップしながら上体を左へ傾け [1, 2]、次に上体を右に傾けながら体重を右足へ移す [3, 4]。続いて肩を組んだまま左足から逆 LOD (左) へ軽いランニング・ステップ 4 歩で進む [5~8]。 ……8 呼間
2. 1 をあと 3 回 (計 4 回) くりかえして逆 LOD へ移動する [1~24]。 ……24 呼間

以上をくりかえす。

◆留意点

- 1) 体の動きを止めることなく、躍動的にきびきびと踊ること。かけ声をかけて踊ると共感を覚える。
- 2) イスラエルの踊りは全般的に連手を低く保ち、直立姿勢で動作する。この踊りで連手を前に上げるのはⅡのときだけである。